

## ■ 訳者紹介

早川 勝 (はやかわ・まさる)

同志社大学大学院司法研究科教授

単 著 Materialsammlung zum japanischen Gesellschaftsrecht, Fernuniversität in Hagen, 2010

共 著 『会社法』有斐閣、2006年

『会社法における主要論点の評価』中央経済社、2007年

『逐条解説 会社法』中央経済社、2008年

(co-author: Whittaker) Takeovers and Corporate Governance: Three Years of Tensions,  
in: ed. Whittaker & Deakin, Corporate Governance and Managerial Reform in Japan,  
Oxford University Press, 2009

論 文 「結合企業法の在り方」浜田道代・岩原紳作編『ジュリスト増刊 会社法の争点』(有斐閣、  
2009年) 104頁以下

Die Zulässigkeit von Abwehrmassnahmen im sich entwickelnden japanischen Übernahmerecht,  
in: Festschrift für Klaus J. Hopt, 2010, S.3081-3104

「合併対価の柔軟性」永井和之・中島弘雅・南保勝美編『新山雄三先生古稀記念論集 会社  
法学の省察(仮)』(中央経済社、2011年) 所収

訳 書 エルンスト・ヨアヒム・メストメッカー『市場経済秩序における法の課題—法理論と秩序政策  
に関する論文集』法律文化社、1997年

受 賞 第3回「大隅健一郎賞」(1999年1月 公益信託大隅法学研究奨励基金)

第8回「日独文化関係促進協会(JaDe)賞」(2007年2月 日独文化関係促進協会)